

アレルギー性鼻炎治療の説明

やまおか耳鼻咽喉科

1. アレルギー体質自体は治してしまう事はできません

〈当院のホームページや、院内の説明用iPadをご覧ください〉

薬は、症状を抑えるだけです



2. 抗アレルギー剤を続けて使用することを推奨します

<http://www7b.biglobe.ne.jp/yamaoka-ent/newpage22.html>

- 1) たくさんの薬の種類があります
- 2) 患者さんに会う薬を探すために、1週間ずつ薬を試してもらいます
- 3) 薬が1日でも切れてしまうと、症状が悪くなります
- 4) 多少薬が余っていても良いので、薬が切れる前に受診してください
- 5) 季節性アレルギー性鼻炎（花粉症）であれば、いつ薬をやめるかを、症状を見ながら医師が判断します
- 6) 花粉症は症状が出る前から（スギなら2月初旬）内服を始めないと十分な効果が出ません
- 7) 自己判断で薬を中断したり、きちんと継続通院できない場合は、頓用薬への切り替えをお勧めします
- 8) 抗アレルギー剤を長期に処方されている場合（当院、他院を問わず）、処方期間が終わるまで同系統の薬に変更できない場合があります。

3. 悪いときだけ、即効性のある薬を頓用で使用し、とりあえずごまかしてゆく方法もあります

この方法で、効果が不十分であれば、毎日きちんと薬を飲み続ける方法を検討してください

4. 何もせず、様子を見るという方法もあります

5. 抗アレルギー剤1剤だけでは、コントロールできない場合があります

- 1) 複数の薬を同時に使うことで対処します
- 2) 点鼻薬、点眼薬などの外用薬も使います
- 3) 複数の薬を使うと薬代も高くなります
- 4) ひどい時だけ使う、非常用の薬を使うこともあります
- 5) 妊娠中、また、他の薬をたくさん飲んでいるなどの理由で、外用薬だけでコントロールをすることもあります

6. 内服や外用薬だけでコントロールできない場合、減感作治療やレーザー治療が候補に挙げられます

- 1) 減感作治療は、スギ、ダニのアレルギーの方のみが対象になります
- 2) レーザー治療、減感作治療ともに、「夢の治療法」ではありません

7. 市販点鼻薬を無闇に続けていると、中毒になります（薬剤性肥厚性鼻炎）

8. 1回注射すれば良い薬（デポステロイド剤）は副作用の面から推奨できません